

単身者も支持する永代供養塔

みんなですべてを守る合同墓 消防署そば「海蔵院」

お彼岸を前に自分の墓地選びを考えるこの時期。核家族化が進む現代では、後継者がいないために、墓地選びに悩む人も多い。その中で支持が高まっているのが「永代供養塔」だ。

室町時代から続く戸塚町の海蔵院。同寺の永代供養

塔は、檀信徒と一緒に埋葬される合同墓で、寺が永代に渡り、供養・管理してくれる。後継者がいない人や単身の高齢者からの生前申込が多いという。

同寺では「ダイダイツナガルおほか」をテーマに、永代供養塔も「ミナノオ

ハカ」と呼ぶ。中村住職は「ご縁のある方の墓所として、それぞれの方ができる範囲でご供養を続けていくお気持ちを持っていただきたいと思っています」と語り、「みんなですべての墓所を守っていく」方針だ。

遺骨を骨壺のまま区分けした場所に納骨する「個別塔」、共同の柵に安置する「共同塔」に、散骨形式で合祀埋葬する「合祀塔」の三塔で一つの墓所となる。

また「見学希望の方はお問い合わせください。費用についての相談にも応じます」と話している。

■海蔵院(戸塚町4123、消防署そば。駐車場あり)
☎045・861・4411



永代合祀塔(手前)と永代納骨塔(右が共同塔、左が個別塔)

タウンニュース(戸塚区版)に掲載致しました。

(平成19年3月15日)